●峰谷は、健診の際にみんなを連れて行くようにしている。

【見守り・交流活動】

●雨戸が閉まったままなどの状況を注意し近所の皆が見守る。町外の娘さんへ連絡するなどをしているが、さらに進める必要がある。
●峰谷などは１戸１戸が遠く、見守り等が難しく、奥多摩町といっても地域毎に条件が違う。
●生活館で熱中症対策をやっているが、何もしないのは退屈。おにぎりなどを持っていくと良い。
●トン汁など野外料理が良いのでは。
●いずれの活動も生活館に来るまでが大変。

子育て関係

【ちびっこぐーちょきぱーの概要】

●自主保育グループ。以前は氷川と古里にあったが人数が減り合併。現在はほとんどの子が保育園に行くため、子どもの数８名程度。きこりんで２回／週活動。

【子育て環境】

●奥多摩町は保育園無料化など子育て支援が充実している。（よそから来るとよく分かる）
●習い事の送迎でファミリーサポートを利用している。また、協力会員として赤ちゃんを預かったことがある。しかし急なときは難しい。
●転入した時は、様々なサポートが分からない。利用できるようにリスト等があれば良い。
●ファミサポの交流会等で顔つなぎをする。預ける方の一覧など事前にわかれば利用しやすい。
●地域ささえあいボランティアも子どもが利用できるとは知らなかった。
●中学生程度となるとサッカーや習い事の希望がでるが、町の中に選択肢はなく、町外への送迎が必要となる。
●小学生までは町で良いが、中学・高校と成長する際、選択肢を広げるために移転する例がある。
●高校生ともなると運動部に所属するなどで、通学ができず、町外の親戚等に預ける例がある。
●奥多摩病院は小児科がなく、子どもの薬を扱っていないなどで、青梅総合病院へ行くこととなる。

自治会

●小丹波自治会は、農協、小学校、保育園、診療所もあり、駅も近く比較的便利である。おしゃべり会は民生委員が協力し開催している。
●大氷川自治会は高齢者ばかり。夏場に熱中症対策でコミセンを解放しても、帰りが大変で来る人は少ない。また標高も高く冬場の雪は大変。
●丹三郎自治会では老人クラブが活発に活動している。自治会では高齢者感謝の会を実施し、保健推進員がおしゃべり会、いも煮会等を行っている。
●高齢者も、お金になるようなことができる寄り合いの場（作業をするサロン等）が必要。わらじ作りやお祭りの時の花づくりなどを行う。
●若いうちにポイント制のボランティアに参加し、年をとったらつかえるような仕組みが必要。
●畑作業は、作る、食べる、配るなどの楽しみがあるうえ、健康づくりにもなる。遊休農地等を分割し賃貸化するなどの仕組みづくりも良いのでは。
●配食サービスは、一人暮らし以外の人も利用でき、自宅で食べることができるので良い。
●健康寿命の延伸のため、介護予防の体操等をもっとやる。